



2020年4月1日

各位

会社名 大和重工株式会社
代表者 代表取締役社長 田中 宏典
(コード番号 5610 東証二部)
問合せ先 常務取締役
企画管理本部長 大津 雅明
(TEL 082-814-2101)

当社株式の時価総額に関するお知らせ

当社株式は、2020年3月において時価総額が10億円未満となりましたので、今後の見通し等につきましてお知らせいたします。

記

1. 当社株式の時価総額について

当社株式は、2020年3月の月間平均時価総額及び月末時価総額が10億円未満となりました。東京証券取引所有価証券上場規程第601条第1項第4号a本文では、9ヶ月（事業の現状、今後の展開、事業計画の改善その他東京証券取引所が必要と認める事項を記載した書面を3ヶ月以内に東京証券取引所に提出しない場合にあっては、3ヶ月）以内に、毎月の月間平均時価総額及び月末時価総額が10億円以上とならないときは、上場廃止になる旨規定されております。

(ご参考)

- ①2020年3月の月間平均時価総額 847,312,117円
- ②2020年3月の月末時価総額 760,480,000円
(3月31日終値 560円×3月31日上場株式数 1,358,000株)

2. 今後の見通しについて

当社の2019年12月期の通期の損益につきましては、売上高は43億4百万円(前年同期比6.3%増)、営業損失は23百万円(前年同期は営業損失1億79百万円)、経常利益は84百万円(前年同期は経常損失71百万円)、当期純利益は93百万円(前年同期は当期純損失62百万円)となりました。

また2020年12月期の通期の損益につきましては、売上高は39億、営業損失2億10百万円、経常損失は1億円、当期純損失は80百万円を予想しております。

当事業年度(2020年12月期)は、産業機械関連機器部門につきましては、当社の特徴である一貫生産体制を活かした付加価値の高い定盤について、取引先の潜在的ニーズを取り込み、営業を強化することで受注確保に取り組んでまいります。住宅関連機器部門については、少子高齢化・人口減少により住宅着工件数の低迷が予測されるなか、今後、拡販が見込める宿泊施設等のサービス関連分野に対して、「鋳物ホーロー浴槽」や「やまと風呂」など当社商品群の魅力を伝えることで需要を取り込み、営業を強化していく所存です。

また、3ヶ月以内に東京証券取引所へ「事業の現状、今後の展開、事業計画の改善その他東京

証券取引所が必要と認める事項を記載した書面」を提出し、開示する予定であります。

株主の皆様をはじめ、関係者の皆様にご心配をおかけしておりますが、引き続き格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上